

食用きのこ



ホンシメジ

秋、雑木林やマツの混じる林内に列をつくって発生する。



特徴

傘：径2～14cm、初め半球形から丸山形、開いて扁平となり、淡灰色。縁部ははじめ内側に強く巻く。
ひだ：白色～淡クリーム色、柄に灣生またはやや垂生し、密。
柄：白色で根元が太まる。

毒きのこ



イッポンシメジ

広葉樹、あるいはマツの混じる林内に点々と発生する。ホンシメジ等によく間違われる。誤食すると胃のむかつきに始まり、やがて激しいおう吐、下痢、腹痛を起こす。



特徴

傘：径7～16cm、初め丸山形、のち開いて中高の扁平、縁部は不規則に屈曲する。
ひだ：初め白色、のち肉色となり、柄に上生～直生、のちほとんど離生状となる。
柄：白色、繊維状、ねじれ状で中実。頂部は粉状。

※平成12年、札幌市内でイッポンシメジの誤食により、4名がおう吐、下痢などの症状を呈する食中毒が起きた。